

2016年の締めくくり

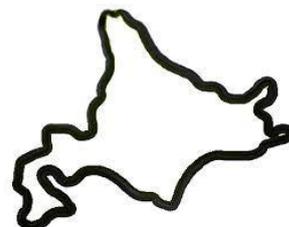
11月16日(水)に今年最後の自主研修会を行いました。今回は、山本校長先生(西浦南小)、浅野先生、井口先生(半田中)、鈴木先生、内藤先生(富木島小)、井口先生(半田中)、青木翔太先生(雁宿小)、宮下先生(加木屋小)、青木孝輔(新知小)の8名で行いました。3つの提案があり、様々な授業について考えることができました。

【提案①】

浅野先生より、校内で行われた、中学校2年社会科「北海道地方のようす」の授業実践の報告をしていただきました。なんと、研修会があった当日に授業をされたとのことでした。浅野先生、お疲れのところ、ありがとうございました。

本時として第1時を行い、単元の導入を行ったそうです。導入ということで、北海道が「魅力のある都道府県・都市ランキング」で8年連続1位であることに触れ、学習課題を「北海道はなぜ魅力度No.1なのだろう」と設定し、北海道の魅力や課題について、考えさせたそうです。

北海道の魅力について、生徒たちは食べ物を中心に発表し、中には歴史的視点(シャクシャインなど)からの発言もあったそうです。大いに盛り上がったそうですが、「課題の追究」に当たる、北海道の課題(夕張市に見る人口の偏り)については時間をかけられなかったという反省も挙げられました。



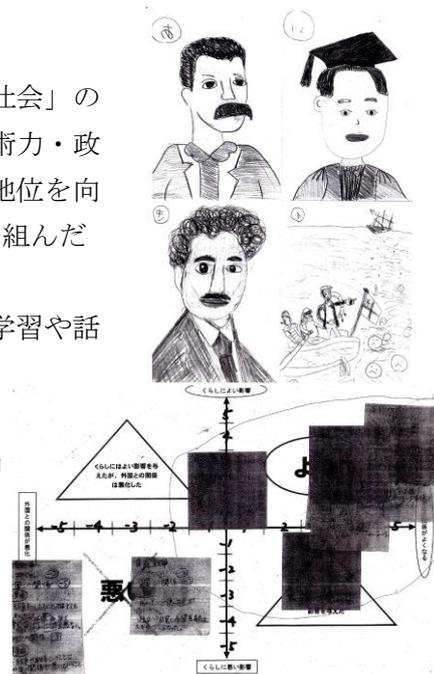
【提案②】

青木翔太先生より、小学校6年生社会科「国力の充実をめざす日本と国際社会」の授業実践の報告をしていただきました。ここでは、「国力」=軍事・経済・技術力・政治の仕組みとし、調べ学習やグループ活動を通して、「国力を高め、国際的な地位を向上させるため、人々はどんな努力をしてきたのだろう」という学習問題に取り組んだそうです。

国力について、「政治(国内)」「戦争」「政治(国外)」という視点から調べ学習や話し合いを行い、右の図にあるようなワークシートに自分の考えをまとめさせたとのこと。

自分の考えを数値化することで、考えをまとめやすくなるとともに、視覚的に他者に伝えることができるのではないかと感じました。

一方で、グループから全体の間へと話し合いをつなげる際には工夫が必要であり、その難しさについても話し合いました。



【提案③】

前々回も提案していただいた、衣浦小学校山岡先生の「工場ではたらく人々の仕事」の指導案検討を行いました。

「町のためにしていること」が分かると考えが深まるが、児童から出させるのは難しいため、事前に工場側に話してもらおうよう、伝えておくとい意見が出ました。また、数直線を用いる時は板書が難しいため、工夫が必要になるという意見も出されました。

年始に懇親会を行います！

日時…1月6日(金) 18時30分 場所…「赤から鍋」(ユウナル東海1階)

会費…4,500円 参加申し込み…半田中学校井口先生まで

始業式の夜に開催となりますが、先生方との懇親を深め、新学期に向けての英気を養う会にしたいと考えております。よろしくお願いいたします。